

## 公共施設の耐震化は？

佐藤 清 議員

**問** 市民会館の耐震診断調査の経過について伺う。

**答** 公共施設整備課長 現在は、現場のコア抜き、穴空け、ハツリ等々を進行中である。これから、その分析にかかる。最終的に、2月中旬くらいには判定結果が出るように行っている。

**問** 市役所本庁舎の耐震補強工事は、どういう計画になっているか。

**答** 財政部長 耐震補強の進め方については、庁舎等耐震化安全対策検討委員会の方性を協議したい。

**問** そのほかの施設の耐震化計画を伺う。

**答** 公共施設整備課長 現在、対象になっている施設は53件である。順次、耐震調査を行って、その判定結果で



取手市民会館

優先順位を決めたい。  
※ハツリ：コンクリート等を削り取る作業。

## 超高齢社会 皆で支え合うまちに

朝比奈通子 議員

**問** 民生委員の制度は、今の地域社会の中で無理が来ている、改善点が多々ある。社会が高齢者問題で騒がしい今、仕組みをつくる好機だと思ふ。市が音頭を取って、ネットワークと情報の共有を進めてほしい。

**答** 健康福祉部長 民生委員が独自に収集した情報は、地区に下ろせるものではない。地区独自の収集方法などが必要になると思う。地域の力がないと前に進めない。

**問** 市役所は具体的に何をやるのか。

**答** 地域の危機感があって初めて話が出てくると思う。市では、地域の方々の支援という考えを持っている。

**問** 超高齢社会に対する互助組織、皆で支え合うまちをつくる必要がある。その情報やノウハウを共有する機会をつくってほしい。

**答** そういった見守り事業を進める上では、きつかけづくりが一番大切だと思う。  
**問** 市内の業者に、各地域社会の中で異変を感じたら役所に知らせてもらう見守り協定を考えてほしい。

**答** もう少し情報収集をしていきたい。

## 急げ！消防車両や施設、装備品の更新

吉田 宏 議員

7月中旬早朝、取手一丁目において、建物火災が発生し、私も消防団員の一人として現場に行った。この現場に応援で駆けつけてくれた我孫子市消防の新型車両と取手市消防の旧型車両の違いに、現場にいた人ならば気づいたと思う。

また、8月上旬、利根川に釣り人が転落した際も、我孫子市消防は丈夫で安定性のあるゴム製のボート、取手市は安定性の悪いアルミ製ボートであった。

**問** 消防車両や施設、装備品の更新を求める。

**答** また、二人一組で行う潜水機材は幾つあるのか。  
**市長** 取手市は、人口に対する消防職員の数が我孫子市よりも多い。宮和田消防署再編などにより、消防職員一人当たりの市民の数を増やす努力をしながら、その行革の効果を施設や装備の近代化に努めていく。

**消防長** ポンプ車13年、高規格救急車10年などの基準があるが、更新されていない。整備計画に基づきながら積極的に取り組んでいきたい。



## 知恵を集める機関を東急ビル問題

高木 晶 議員

また、潜水セットは3人分保有している。

**問** 私たち日本共産党議員団は、東急ビルの早期リニューアルオープンに関して緊急提案を市長に行つた。具体的な検討はしたのか。

**反問（市長）** 買い物ができるスペースを守ってくれという立場なのか、それとも商業ビルとしての東急をサポートする立場なのか。

**反問に対する答（高木）** 取手の商工行政、地域経済、市民の買い物環境を守る。これが大前提で、その上で東急ビルの存続を図る立場。

## 副議長に 佐藤 隆治議員

定例会中の9月13日、細谷副議長から、一身上の都合により、副議長を辞職したいとの願いが提出され、議会は賛成多数によって許可しました。

辞職後、直ちに副議長の選挙を行った結果、佐藤隆治議員が副議長に就任しました。

〔副議長選挙の結果〕  
佐藤 隆治 14票（当選）  
小泉眞理子 6票  
齋藤 久代 4票  
澤部 利勝 1票  
平 由子 1票  
無効投票 1票



副議長 佐藤 隆治

〔就任あいさつ〕  
これまで、地域のより身近な問題を中心に、2期7年の議員活動を行ってまいりました。

市民生活、経済の課題も多い中、議会の責任を果たし、ご期待にお応えできるよう、同僚議員の理解と協力を得ながら、岡部議長と共に、より開かれた議会運営に努めてまいります。